

レジメン登録フォーマット

申請年月日	平成28年10月28日	使用開始日	
登録診療科	泌尿器科	申請医師	富山栄輔
レジメン名	ドセタキセル+CDDP		
疾患名	原発不明がん(腺がん+扁平上皮がん)	適応の備考	
適応分類	進行再発		
1コース日数	21 日間	総コース数	有効な限り コース 催吐性リスク 高度
抗がん剤投与量・投与日 ドセタキセル75mg/m ² day1、シスプラチン75mg/m ² day1			
治療スケジュール・投与日程(投与日は●) (day)			

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	主ルート																								
	点滴静注	フィジオ140輸液500mL	2 本 / body	2 時間	●																				
2	主ルート	生食250mL	1 本 / body	30 分	●																				
	点滴静注	プロイメド注150mg	1 本 / body																						
3	主ルート	アロキソ注ハック0.75mg50mL	1 本 / body	30 分	●																				
	点滴静注	デキサート注射液6.6mg/2ml	1 本 / body		●																				
		デキサート注射液1.65mg/0.5mL	2 本 / body		●																				
4	主ルート	生食250mL	1 本 / body	60 分	●																				
	点滴静注	ドセタキセル	75 mg / m ²		●																				
5	主ルート	生食500mL	1 本 / body	2 時間	●																				
	点滴静注	シスプラチン	75 mg / m ²		●																				
シスプラチンと同量の生食を抜いてから混注する(合計500mLとする)																									
6	主ルート																								
	点滴静注	フィジオ140輸液500mL	2 本 / body	2 時間	●	●																			
7	側管	生食100mL	1 本 / body																						
	点滴静注	デキサート注射液6.6mg/2mL	1 本 / body	30 分		●																			
8	側管	生食100mL	1 本 / body																						
	点滴静注	デキサート注射液6.6mg/2ml	2 本 / body	30 分		●	●																		
day4は主ルート																									

※並行して投与する場合は、コメントを入力する。(例:Rp2とRp3を同時に投与開始する。)

【投与上の注意】

シスプラチン: 希釈は生食のみ。

シスプラチン: 腎毒性軽減のためhydrationが必要。

シスプラチン: 適宜、利尿剤を投与

【day1】シスプラチン投与前後にそれぞれ補液500mL2本/120分を投与

【day2,3】補液500mL2本/120分/dayを投与

・プロイメドは血管痛が報告されているため、溶解には可能な限り生食250mLを使用すること(最低でも100mL以上)。

・プロイメドは抗がん剤投与の1時間前に30分かけて点滴すること。

・day3以降のデキサメタゾン増量は必要(day1・2を減量しているため)。

・プロイメドの次に5-HT3受容体拮抗薬+デキサート注を投与して、その次に抗がん剤を投与すること。